

令和7年度 危険物取扱者試験 試験案内

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により宮城県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

一般財団法人 消防試験研究センター宮城県支部

試験のお申込み前に必ずお読みください。

- ※ 受験に際し、疾病や負傷、障がい等のために受験上の特別な配慮が必要な方は、試験当日の申し出には応じられないことがありますので、受験申請前に必ずご相談ください。
(3 ページ参照)
- ※ 一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。
 - ・ 郵便局（ゆうちょ銀行）窓口用払込用紙で支払う場合
「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失した場合は、再度払込みをしていただきますのでご注意ください。
（「振替払込請求書兼受領証」では受付できません。）（8 ページ参照）
 - ・ 2次元コード経由で支払う場合
決済エラー等により支払いができなかった場合は、新しい願書入手し決済するか、郵便局窓口用払込用紙で支払ってください。
(9 ページ参照)
- ※ 願書受付締切日を過ぎてからの「試験日」・「試験種類」・「受験地」の変更及びキャンセルはできません。
- ※ 自然災害等により試験の実施について変更する場合があります。変更、中止及び延期等になる場合は、当センター宮城県支部のホームページに掲載しますので、最新の情報を確認してください。
- ※ 試験案内は最後まで必ずよく読んでください。
記載されている内容に同意した上で、お申込みください。
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意したものとみなします。
- ※ この試験案内は合格発表日まで大切に保管してください。

問合せ先

受付時間 9時～17時（土日、祝日、年末年始を除く）

ホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>



◆ 試験に関すること

一般財団法人 消防試験研究センター宮城県支部

〒981-8577 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎5階

TEL 022-276-4840

FAX 022-276-4841



JR仙山線

「北仙台駅」から徒歩約10分

仙台市営地下鉄

「北仙台駅」から徒歩約10分

「北四番丁駅」から徒歩約10分

バス停

「宮城県仙台合同庁舎前」下車

から徒歩3分

◆ 電子申請に関すること

一般財団法人 消防試験研究センター 電子申請室

TEL 0570-07-1000（有料）

個人情報の取扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

(1) 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

(2) 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。

その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に対し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

受験上の配慮について

受験に際し、疾病や負傷、障がい等のために受験上の配慮を希望する場合は、受験申請前に、申出書等の書類を提出していただきます。

詳細については、当支部にお問合せください。

なお、日常生活において使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験会場によって対応が異なるため、必ず受験申請前にご連絡ください。

(注1) 試験当日の申し出には応じられないこともありますので、ご留意願います。

(注2) 希望する配慮事項により対応の検討に時間がかかる場合があります。

(注3) 受験申請後に怪我等により、急遽受験上の配慮を要する事由が生じた場合、受付期間終了後も受け付けますが、十分な配慮を提供することができないことがありますのでご留意願います。

相談の時期

必ず、受験申請前にご相談ください。

希望する配慮事項により対応の検討に時間がかかる場合があります。

相談の方法

電話などにより事前に連絡した上で、申出書(当センター所定の様式)等を提出してください。(申出書等の提出は、受験申請前です。)

相談先

一般財団法人 消防試験研究センター宮城県支部

受付時間 9時～17時(土日、祝日、年末年始を除く)

TEL 022-276-4840

取り扱うことができる危険物の種類

免状の種類	取 り 扱 う こ と が で き る 危 険 物
甲 種	全種類の危険物
乙 種	第1類 塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類などの酸化性個体
	第2類 硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウムなどの可燃性個体
	第3類 カリウム、アルキルアルミニウムなどの自然発火性物質及び禁水性物質
	第4類 ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動物性油類などの引火性液体
	第5類 有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物などの自己反応性物質
	第6類 過塩素酸、過酸化水素、硝酸などの酸化性液体
丙 種	ガソリン、灯油、軽油、重油など

試験種類別の試験科目、問題数及び試験時間

種類	試 験 科 目 (略 称)	問題数	合計	試験時間
甲種	①危険物に関する法令(法令)	15問	45問	2時間 30分
	②物理学及び化学(物化)	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法(性消)	20問		
乙種	①危険物に関する法令(法令)	15問	35問	2時間
	②基礎的な物理学及び基礎的な化学(物化)	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法(性消)	10問		
丙種	①危険物に関する法令(法令)	10問	25問	1時間 15分
	②燃焼及び消火に関する基礎知識(燃消)	5問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法(性消)	10問		

試験日程：試験日や会場等に変更する場合がありますので、ホームページで確認してください。

◆6月7日～2月15日の試験種類は、「甲種、乙種第1・2・3・4・5・6類、丙種」を実施します。

試験日	受験地	試験会場	受付期間	合格発表 予定日
令和7年 6月7日(土)	仙台市	東北大学川内北キャンパス	4月14日～4月22日	6月25日
7月6日(日)	石巻市	宮城県石巻工業高等学校	5月19日～5月27日	7月24日
7月21日(月)	白石市	宮城県白石工業高等学校	6月2日～6月10日	8月7日
7月27日(日)	大崎市	宮城県古川工業高等学校	6月9日～6月17日	8月14日
9月7日(日)	仙台市	東北大学川内北キャンパス	7月18日～7月29日	9月26日
11月16日(日)	仙台市	東北大学川内北キャンパス	9月29日～10月7日	12月4日
12月14日(日)	石巻市	宮城県石巻工業高等学校	10月24日～11月4日	1月7日
12月21日(日)	白石市	宮城県白石工業高等学校	10月31日～11月11日	1月15日
令和8年 1月12日(月)	大崎市	宮城県古川工業高等学校	11月14日～11月25日	1月29日
2月15日(日)	仙台市	東北大学川内北キャンパス	12月15日～12月23日	3月5日

◆3月14日の試験種類は、「乙種第4類」のみ実施します。

3月14日(土)	仙台市	東北大学川内北キャンパス	1月26日～2月3日	4月2日
----------	-----	--------------	------------	------

(注1) 書面申請：受付期間内（受付締切日の消印有効）に申請してください。

(注2) 電子申請：受付時間は、受付開始日の9時から受付締切日の23時59分までです。

試験の種類と試験時間：集合時刻より試験監督員が注意事項の説明を開始します。

試験の種類		集合時刻	試験時間
甲種	—	10時	10時30分～13時
乙種	第1・2・3・5・6類 第4類 (午前の部)	科目免除なし	10時
		乙種科目免除あり	10時
		火薬免除あり(1・5類の方)	10時
		乙種+火薬免除あり(1・5類の方)	10時
	第4類 (午後の部)	科目免除なし	14時
		乙種科目免除あり	14時
丙種	科目免除なし	10時	10時30分～11時45分
	科目免除あり	10時	10時30分～11時30分

(注1) 乙種第4類は、試験時間は当支部が「受験票」で指定した時間になります。受験者本人が選択することはできません。

集合時刻及び試験時間を間違えないよう注意してください。

◆ 申請者数によっては、午前の部だけの実施になる場合があります。

◆ 午前と午後、同日2回受験することはできません。

(注2) 複数受験の方は、上記試験時間と異なります。9ページ「複数種類の受験」を参考にしてください。

試験会場の案内

試験会場についての注意事項【厳守】

- 1 仙台市の試験会場は、受験者用駐車場はありません。
仙台市以外の試験会場の駐車場でも、駐車可能な台数が少ないため、公共交通機関の利用をお勧めします。
(注) 会場周辺の店舗等への違法駐車・迷惑駐車は絶対にしないでください。
なお、駐車にかかるトラブルについては、当センターは一切責任を負いません。
- 2 各会場校に問合せの電話をしないでください。
- 3 試験会場敷地内は、全面禁煙です。
- 4 会場へのアクセス方法は、ご自身で事前に確認してください。

◆ 仙台市「東北大学川内北キャンパス」 (仙台市青葉区川内41)

JR仙台駅からのアクセス

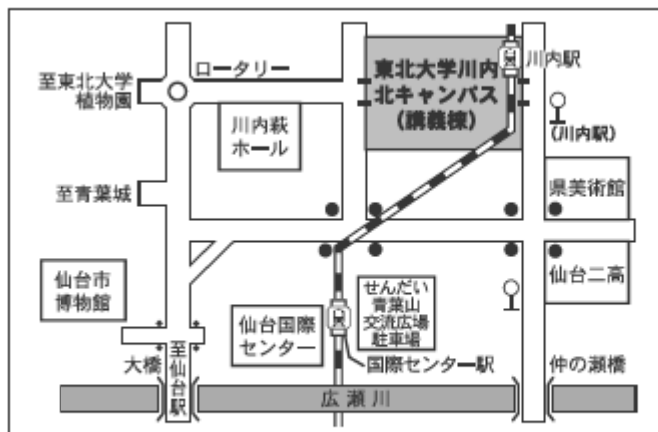
※地下鉄、バスの運賃及び時刻表は、仙台市交通局のホームページで確認してください。

・地下鉄東西線

乗車駅(行き先)	降車駅	所要時間
地下鉄仙台駅 (八木山動物公園行)	川内駅	約6分
※試験会場は、「川内駅」南2番出口からすぐです。		

・バス(仙台市営バス)

乗車駅(行き先)	降車駅	所要時間
地下鉄仙台駅 (川内営業所行)	川内駅	約15分
※上記以外の行き先もあります。		



※せんだい青葉山交流広場駐車場(有料)は、イベント等で使用できない場合があります。

◆ 白石市「宮城県白石工業高等学校」 (白石市郡山字鹿野43)



◆ 石巻市「宮城県石巻工業高等学校」 (石巻市貞山5-1-1)



◆ 大崎市「宮城県古川工業高等学校」 (大崎市古川北町4-7-1)



※白石市、石巻市、大崎市で受験する方は、試験当日、上履き(スリッパ)を忘れずに持参してください。

(注) 大崎市会場はJA古川本店移転により、駐車場が利用できなくなりました。会場の駐車可能台数が非常に少なくなりましたので、ご注意ください。

甲種危険物取扱者試験

1 受験資格

次表に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

次表「略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

対 象 者	大 学 等 及 び 資 格 詳 細	略 称	証 明 書 類 ※全てコピー可
〔1〕 大学等において化学に関する学科等を卒業した方 (17ページ別表1参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学、短期大学、高等専門学校、高等学校の専攻科、中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等、専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証明書 又は 卒業証書・学位記 (学科又は課程の名称が明記されているもの)
〔2-1〕 大学等において化学に関する授業科目を通算して15単位以上修得した方 (17ページ別表2参照)	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、大学院、専門職大学院、専修学校 高等専門学校（専門科目に限る）	15単位	単位修得証明書 又は 成績証明書 (修得単位が明記されているもの)
〔2-2〕 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 (17ページ別表2参照)	大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等		
〔3〕 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者免状のコピー及び乙種危険物取扱実務経験証明書(様式願書B面裏)
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類(必須) ○第5類(必須)	4種類	乙種危険物取扱者免状のコピー
〔4〕 修士・博士の学位を有する方 (17ページ別表1参照)	修士・博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方 (外国の同学位も含む。)	学位	学位授与証明書、学位記・修了証書又は修了証明書 (学位を取得してこと、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの)

(注1) 証明書類については、該当の学科、専攻、修得単位等が明記されているものがが必要です。
(証明書類の氏名に変更がある方は、戸籍抄本や裏書きされた運転免許証(写し)などを添付してください。)

(注2) 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票又は結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。(コピー可)
(「資格判定コード」欄に番号が印字されているものに限り。)

(注3) 〔1〕の高等学校及び中等教育学校の専攻科については、修業年限2年以上のものに限り。ます。

(注4) 〔1〕、〔2-1〕の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか、次のいずれかの書面が必要になります。(ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)に内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です。)

(1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し

(2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時間が1700時間以上であることを証明する書類(19ページ書式例1を参照)

(注5) 〔2-1〕の大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず合算して算定することができます。

放送大学も同様に算定できます。
また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。

(注6) 〔2〕の「単位修得証明書」(19ページ書式例2を参照)

- (注7)〔3〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のB面裏の様式を使用してください。(16ページ参照)
- (注8)旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- (注9)〔3〕の「乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方」とは、受験資格の対象となる種類の試験に合格したが免状の交付を受けていない方、合格後の新規免状交付申請をしているが免状の交付がまだの方は対象となりません。

2 科目免除はありません。

乙種危険物取扱者試験

- 1 受験資格はありません。
- 2 科目免除

試験の免除

乙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、下表のとおりです。
免除資格を有する方で、免除を希望される方は、受験願書の「受ける」に○を付けるとともに免状のコピーを貼付してください。(14ページ～16ページ参照)

免除資格者	免除類別	試験科目 (略称)	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状 をお持ちの方	全類	①法令	全部免除	0問	10問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消		10問		
火薬類免状をお持ちの方	第1類 第5類	①法令		15問	24問	1時間 30分
		②物化	一部免除	4問		
		③性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状 及び火薬類免状 をお持ちの方	第1類 第5類	①法令	全部免除	0問	5問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消	一部免除	5問		

〔備考〕火薬類免状は、次の免状をいいます。

○甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状(火薬類取締法第31条第1項)

○甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状(火薬類取締法第31条第2項)

- (注1)新規免状交付申請中に受験申請する予定がある方は、既に交付を受けている乙種免状のコピーをとっておいてください。
- (注2)免除資格の対象となる種類の試験に合格したが免状の交付を受けていない方、合格後の新規免状交付申請をしているが免状の交付がまだの方は対象となりません。

丙種危険物取扱者試験

- 1 受験資格はありません。
- 2 科目免除

試験の免除

丙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、下表のとおりです。
免除資格を有する方で、免除を受ける方は、受験願書の「該当する」に○を付けるとともに次の2点の証明書類を貼付してください。

〔備考〕証明書類は、次の書類をいいます。

①5年以上消防団員として勤務したことを証明する書類(消防団長又は市町村長が証明するもの)

②消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類(消防学校長が証明するもの)

免除資格者	試験科目 (略称)	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	①法令		10問	20問	1時間
	②燃消	全部免除	0問		
	③性消		10問		

試験手数料と納入方法

甲 種	乙 種	丙 種
7,200円	5,300円	4,200円

(非課税)

(注意) 一旦払込みされた試験手数料は、受験されない場合でもお返しできません。
払込みする前に、試験日・受験地・試験種類などよく確認してください。

1 書面申請

(1) 「郵便局(ゆうちょ銀行)窓口用払込用紙」で支払う場合

- ① 受験願書と一緒にお渡しした当センター指定の郵便局(ゆうちょ銀行)窓口払込用紙を使って、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の「窓口」で払込んでください。

(注1) ATMの払込みでは、受付できません。

(注2) 当センター指定試験手数料専用の払込み用紙以外(郵便局備え付けの用紙)は、使用しないでください。

(注3) 金額が記入されていないものは受付できません。また、金額を訂正したものは受付できません。

(注4) 払込みには、別途所定の払込手数料が必要です。

- ② 郵便局又はゆうちょ銀行から戻ってくる試験手数料払込証明書「振替払込受付証明書(お客さま用)」に受付日の日附印が押印されていることを確認のうえ、受験願書B面に貼り付けしてください。

(注1) 本人控の「振替払込請求書兼受領証」では受付できません。

(注2) ATMで払込んだ場合の「ご利用明細票」では受付できません。

(注3) 試験手数料払込み後の「振替払込請求書兼受領証」は、払込みの証拠となるものです。当センターでは再発行はいたしません。

(注4) 願書に貼り付ける「振替払込受付証明書(お客さま用)」を紛失、汚損等により受験願書に貼り付けることができない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。

(紛失、汚損等した場合は、再度払込みが必要となります。)

- ③ 会社等で2人以上の受験者がいる場合や複数種類の受験をする方は、合計金額を一括して払込んで構いません。その場合「振替払込受付証明書(お客さま用)」は、最初の受験願書に貼り付けし、すべての願書を同一封筒で送付してください。

- 試験手数料の金額を必ず記入してください。
(金額のないものは受付できません。)
- 試験手数料の金額を間違えた場合は、再度、払込み用紙を入手してください。
(金額の訂正は無効です。)
- 郵便局又はゆうちょ銀行から払込み後、受付局日附印が押されているか確認してください。

甲種 7,200円
乙種 5,300円
丙種 4,200円

(2) 「2次元コード経由」で支払う場合

- ① 受験願書B面の左下に印刷されている2次元コードから支払いサイトに入り、画面せん移に従ってお支払いください。
- ② 電子決済後、決済完了メール本文に記載している18桁の「決済完了番号」を受験願書B面の左下に記入してください。

(注1) 願書に印刷されている2次元コードは、願書ごとに異なります。

(注2) 決済エラー等のため支払いができなかった場合は、多重決済防止のため同じ2次元コードを利用することができません。

決済エラーの場合、現在の願書を破棄して新しい願書で決済するか、現在の願書を引き続き使用する場合、「(1)郵便局窓口用払込用紙」で支払ってください。

(注3) 払込みには、別途所定の払込手数料が必要です。

2 電子申請

(1) 試験手数料は、次の決済方法から選択し、それぞれの手続きに従って払込んでください。

- ① ペイジー (Pay-easy) 決済※情報リンク方式、オンライン方式
- ② クレジットカード決済
(VISA、MasterCard、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース)
- ③ コンビニエンスストア決済
(セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート)
- ④ スマホ決済 (PayPay、メルペイ)

(注1) 払込みには、別途所定の払込手数料が必要です。

(注2) 上記(1)①のオンライン方式及び③による決済方法の場合は、仮受付完了日の翌日から3日以内に払込みを完了してください。

(注3) 電子申請での領収書(書面)の発行は、「試験日翌日から試験日の翌年度末まで」に、**電子申請システムからダウンロード**できます。

3 払込みにかかる手数料などについて

試験願書申請方法	決済方法	決済内容	手数料	注 意
書面申請	(A) 郵便局(ゆうちょ銀行)窓口用払込用紙	郵便局(ゆうちょ銀行)窓口	日本郵政協の定める手数料	「書面申請」 郵便局用払込用紙(A) 又は2次元コード(B)～(E)のいずれかで支払ってください。 (重複支払いに注意!)
書面申請 及び 電子申請	(B) ペイジー (Pay-easy)	(a) 情報リンク方式 (b) オンライン方式	230円(税込) が別途発生	「電子申請」 (B～b)及び(D)による決済方法の場合、仮受付完了日の翌日から3日以内に支払いを完了してください。
	(C) クレジットカード決済	VISA マスターカード JCB アメリカンエクスプレス ダイナース		
	(D) コンビニエンスストア決済	セブンイレブン ファミリーマート ローソン ミニストップ セイコーマート		
	(E) スマホ決済	PayPay メルペイ		

※一般財団法人消防試験研究センターでは、(B)～(E)による試験手数料の収納に関して、全て三井住友カード株式会社に業務委託しています。

複数種類の受験（第4類を除く）

すでに乙種危険物取扱者免状を取得している方は、他の乙種の試験を3種類まで同時に受験することができます。

この場合、試験時間は1種類につき35分間です。

乙種を2種類受験する場合 試験時間35分×2種類＝1時間10分

乙種を3種類受験する場合 試験時間35分×3種類＝1時間45分

※ 甲種及び丙種は、同時に受験できません。

※ 受験願書は受験する種類ごとにそれぞれ作成し、同一封筒で申請してください。

受験申請に必要な書類・提出方法

1 書面申請

必要書類	受験願書	① かい書でていねいにボールペンで記入してください。 (受験願書は、複写式となっておりA面とB面があります。) ② 「※印」以外の欄の該当するところは、すべて記入してください。 (14～16ページ参照)	
	試験手数料	郵便局(ゆうちょ銀行窓口用払込用紙で払込んだ方)	郵便局又はゆうちょ銀行の受付局日附印が押印された「振替払込受付証明書(お客さま用)」を受験願書B面に貼付(16ページ参照)
		2次元コード経由で払込んだ方	決済完了メール文中に記載している18桁の「決済完了番号」を受験願書B面に記入。(16ページ参照) (注)受験する種類をよく確認してください。
	その他 (該当者のみ)	甲種受験者	受験資格を証明する書類(6ページ参照)
		乙種受験者で科目免除を受ける方	科目免除資格を証明する書類(7ページ参照)
		丙種受験者で科目免除を受ける方	科目免除資格を証明する書類(7ページ参照)
		すでに危険物取扱者免状の交付を受けている方	危険物取扱者免状のコピー(表・裏) ※科目免除の有無にかかわらず受験願書B面裏に貼ってください(16ページ参照)
		複数種類の受験を希望する方	受験する種類ごとに受験願書を作成(9ページ参照)
	願書提出方法等	① 受験願書の提出は、原則郵送とします。 ② 試験の種類ごとに必要な書類等をそろえ、「特定記録」郵便により、折り曲げないで必ず受付期間内に申請してください。 (受付期間最終日の消印があるもので受付します。) (受験願書が受理されているかどうかのお問合せには応じることができません。「特定記録」郵便を利用すると、ご自身で配達状況を確認することができます。) ※ 他県で受験する方は、受験する都道府県の支部等に郵送してください。 宮城県支部では、宮城県内の受験地の願書以外は受付できません。	
	注意事項	① 一度受理した願書は、願書受付期間を過ぎてからの「試験日・試験種類・受験地」等の変更及びキャンセルはできません。 ② 当センターで受理された受験申請書類、試験手数料は受験されない場合でもお返しできません。 ③ 試験手数料払込み後の「振替払込請求書兼受領証」は、払込みの証拠となるものです。当センターでは再発行はいたしません。 ④ 願書受付期間を過ぎてから提出された願書及び記載事項や貼付書類に不備がある場合は、受理できません。 この場合は、受験申請書類を申請者負担で返送いたします。	
	受付期間	4ページ参照(受付期間最終日の消印有効)	
	願書郵送先	一般財団法人 消防試験研究センター宮城県支部 〒981-8577 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎5階	
	問合せ先	TEL 022-276-4840 9時～17時(土日、祝日、年末年始を除く)	

2 電子申請

受験申請が便利になりました！！	・実務経験証明や卒業証明書など、受験資格を証明する書類が必要な場合も申請できます。 ・火薬類免状による科目免除、消防団員による科目免除を希望する場合も申請できます。 ・同一試験日に複数の受験を申請する場合も申請できます。
申 請	一般財団法人 消防試験研究センターホームページ (https://www.shoubo-shiken.or.jp/) にアクセスし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。
電子申請するうえで 確認すること。 準備すること。	① パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、当センターホームページから受験票(PDF)をダウンロードして自宅やコンビニ等のプリンターや複合機で印刷できること。 ② 資格の証明書類等を添付する必要がある場合は、審査結果などを通知する当センターからのメールを受信できるようにしておくこと。 (注) 証明書類に不備があった場合は、差し戻しします。必ずメールを確認してください。 ③ 資格の証明書類等はPDF又はJPEG形式のファイルを準備すること。 (注) 証明書類が必要な試験を申し込むと、証明書類のデータファイルをアップロードするためのURLが記載されたメールが届きます。案内に沿ってアップロードしてください。 ④ 既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載内容に変更がないこと。 (注) 免状番号(免状の写真下に記載された12桁の番号)の入力が必要です。免状番号のない古い免状をお持ちの方は、電子申請できませんので書面で申請してください。 ⑤ 過去3年以内に受験したことのある方で、同じ種類・内容で受験を希望する方は、そのときの受験票(控え)又は結果通知書を準備する。 (注) 受験番号、資格コード等、そのときの受験票及び結果通知書の再発行は行いません。
注意事項	① 仮受付完了表示後は、「試験日・試験種類・受験地」等の変更はできません。(願書情報入力最後に表示) ※ 試験手数料ご入金後の『受付完了メール』ではありません。 ② 当センターで受付された試験手数料は受験されない場合でもお返しできません。 ※ 試験日、受験する種類をよく確認して申請してください。
試験手数料	ペイジー、クレジットカード決済、スマホ決済又はコンビニエンスストア決済(仮受付完了翌日から3日以内)により払込みを完了 (9ページ参照)
受付期間	受付開始日の9時から受付締切日の23時59分まで(24時間申請可能) (4ページ参照) (毎週土曜日午前3時～午前5時はシステムメンテナンスのため申請不可。)
問合せ先	一般財団法人 消防試験研究センター 電子申請室 専用電話 0570-07-1000 (有料) 受付時間 9時～17時 (土日、祝日、年末年始を除く) (注) 上記へは、書面申請の受験願書を郵送しないでください。 「受験票がダウンロードできない。」「受付完了メールなどのメールが届かない。」などの問合せ先になります。

【備考】氏名の漢字について

書面申請及び電子申請の際、漢字氏名で特殊文字(外字：JIS規格外の文字)が使用されている場合は、一時的に、一般的に使われている文字(JIS規格の第1・第2水準までを標準とする。)を使用いたしますのでご了承ください。
合格後の免状交付申請の際に、お申し出により正しい漢字に修正いたします。

受験票について

受験票の送付	書面申請した方	試験日の約10日前に受験票(圧着ハガキ)を郵送します。 受験票が届かない場合は、必ず試験日前の金曜日(祝日の場合は木曜日)の12時までに当支部へ連絡してください。
	電子申請した方	申請時に入力された電子メールアドレスあてに『受験票印刷可能メール』を試験日の約10日前までに送信します。 受験者本人がダウンロードして受験票を印刷してください。 (注) 複数受験申請した方は、受験する全ての種類の受験票をダウンロードして、試験当日持参してください。

受験票の内容をよく確認してください。

住所・氏名に誤りがある場合

試験当日、試験室で記載事項の修正用紙を受け取り、正しい内容を記入して監督員に提出してください。

試験の種類・免除科目に誤りがある場合

試験日前の金曜日(祝日の場合は木曜日)の12時までに当支部へ連絡してください。
当支部で入力誤りがあった場合に限り、修正します。

試験当日では申し出にすることができませんので、必ず確認してください。

受験票を紛失又は届かない場合

試験当日、受験票を再発行いたします。その際は、受験票に貼る写真(縦4.5cm×横3.5cm)、身分証明書(写真付き)を試験本部に持参してください。

試験当日の持ち物

- 1 写真を貼った受験票
- 2 HB又はBの鉛筆又はシャープペンシル
- 3 消しゴム
- 4 会場が高等学校の場合は、上履きやスリッパ(スリッパの貸し出しは一切行いません。)

受験票の見本及び写真について

《書面申請による受験票の見本》

複数受験者の方は「複数受験者の座席番号」が記載されます。

氏名を記入してください。

《電子申請による受験票の見本》

正しい文字が入力できなかった方は試験当日試験監督員に申し出てください。

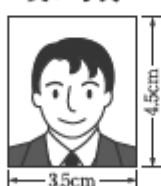
印字されている住所を確認してください。

試験日前に受験票をダウンロードしてA4の用紙に印刷してください。

写真について

- ・受験日前6ヵ月以内に撮影した写真。
- ・正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像。
- ・縦4.5cm、横3.5cmの大きさで枠なしの鮮明なもの。
- ・髪が目にかからないこと。
- ・サングラスは不可
- ・デジタル写真は写真専用紙に印刷(プリント)したものに限ります。
- ・裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。
- ・セロテープで貼らないこと。

* 良い写真 *



* 悪い写真 *



顔が大きい
(顔が切れている)

- ・写真は、受験者本人の確認及び免状作成の際に使用します。

試験の方法

解答方法は、マークシート方式です。(HB又はBの黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム以外は使用できません。)

甲種、乙種については、5肢択一。丙種については、4肢択一です。

(注) 電卓、計算尺、テンプレート等の定規類、携帯電話・スマートフォン等の端末機器、腕時計を使用したり、机上に置くことは禁止です。

試験当日の注意事項

- 1 **写真を貼った受験票を必ず持参してください。**
試験当日に「受験票を忘れた」、持参した受験票に「写真を貼っていない」又は「本人と確認できない写真を貼った」場合には、受験できない場合があります。
- 2 試験室ではHB又はBの黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム以外は使用できません。
- 3 試験室では、携帯電話、スマートフォンの電源及び時計等のアラーム機能を切り、カバン等にしまってください。
- 4 集合時刻(試験開始30分前)までに着席して、試験に当たっての注意事項の説明を受けてください。
- 5 試験室へは、集合時刻の30分前から入室できます。
- 6 試験問題集の持ち帰りはできません。(持ち帰った方は失格となります。)
試験問題集が紛失した場合、聞き取り調査及び持ち物の検査をすることがありますので、予めご了承ください。
- 7 他の受験者に迷惑となる行為があった場合は、試験中でも退場していただくことがあります。
- 8 **不正行為及び係員の指示に従わない場合は、退場を命じ、失格とします。**
- 9 受験上の特別な配慮が必要な方の試験当日の申し出には応じられないことがあります。
- 10 **仙台市の試験会場は、受験者用駐車場はありません。仙台市以外の試験会場の駐車場でも、駐車可能な台数が少ないため、公共交通機関の利用をお勧めします。**
- 11 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは、当支部とは一切関係ありませんので、ご注意ください。
- 12 災害や天候により電車又は地下鉄が遅延した場合の連絡先 022-276-4840
(受付時間 <午前の部 9時30分～11時まで/午後の部 13時30分～15時まで>
※出欠の連絡は不要です。会場までのアクセス案内はしません。上記理由以外の遅刻は認めません。

合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者はともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60パーセント以上であること。(試験科目の一部が免除された方については、免除された以外の問題で上記の成績であること。)

合格発表(合格後の手続きは19ページ)

- 1 合格発表予定日は、4ページを参照してください。
- 2 発表日には、(一財)消防試験研究センター宮城県支部に合格者の受験番号を掲示するとともに、当センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>)にも合格発表日の正午から合格者の受験番号を掲示します。
また、**受験者全員に試験結果通知書を合格発表日に郵送します。**
(試験を欠席された場合は、試験結果通知書は郵送しません。)
- 3 受験番号や試験結果の合否、試験問題及びその解答に関する問合せには、一切応じられません。
- 4 **試験結果通知書が合格発表後1週間たっても届かない場合は、1ヶ月以内にご連絡ください。**
(連絡がない場合は、到着したものとみなします。)

11		危険物取扱者試験受験願書 (全国共通)																																																							
一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名 宮城県																																																							
申請日 令和 07 年 04 月 14 日																																																									
3	申請者氏名	ミヤキ ケンタロウ																																																							
4	氏名	宮城 県太郎																																																							
5	生年月日	大 55 年 10 月 10 日生	本籍 宮城 都道府県コード 04																																																						
7	郵便番号	980-0014	必須記入してください 自宅電話番号又は携帯電話番号 090-3987-0000																																																						
8	住所	宮城県仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台マンション5-512																																																							
勤務先名又は学校名 (株)宮城商店		連絡先電話番号(携帯電話も可) 022-276-4840																																																							
11	試験日	令和 07 年 06 月 07 日																																																							
12	試験種類	甲 乙 丙 第 4 類																																																							
13	受験地	仙台市																																																							
14	甲種受験資格																																																								
15	科目免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を ☐ 受ける ☒ 受けない 乙種危険物取扱者免状の交付を ☒ 受けている ☐ 受けていない 5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の消防科を修了した者に ☒ 該当する ☐ 該当しない																																																							
16	同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種別を記入すること	甲 乙 丙 種 第 類																																																							
メールアドレス(任意)		@																																																							
他の都道府県での受験申請状況		都道府県コード 試験種別 試験日 ☐ 甲 乙 丙 種 第 類 ☐ 月 日 ☐ 甲 乙 丙 種 第 類 ☐ 月 日																																																							
該当する職業等に1つだけ○を記入してください		① 高校生 ⑦ 危険物を扱うその他の事業者 ② ①以外の学生、教育・研究機関 ⑧ 公務員 ③ ガラススタンド ⑨ 警備業 ④ 化学工業 ⑩ ビル管理業 ⑤ 危険物の卸売業、小売業 ⑪ その他 ⑥ 危険物の運送業																																																							
19	免状取得の有無について記入してください	免状番号 1234 5678 9000																																																							
21	取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	<table border="1"> <thead> <tr> <th>乙種コード</th> <th>免状交付年月日</th> <th>交付番号</th> <th>市入力番号</th> <th>交付知事</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲</td> <td>年 月 日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>乙1</td> <td>年 月 日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>乙2</td> <td>4 12 年 04 月 07 日</td> <td>05555</td> <td></td> <td>東京</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>乙3</td> <td>年 月 日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>乙4</td> <td>年 月 日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>乙5</td> <td>年 月 日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>乙6</td> <td>年 月 日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>丙</td> <td>年 月 日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		乙種コード	免状交付年月日	交付番号	市入力番号	交付知事	コード	甲	年 月 日					乙1	年 月 日					乙2	4 12 年 04 月 07 日	05555		東京	13	乙3	年 月 日					乙4	年 月 日					乙5	年 月 日					乙6	年 月 日					丙	年 月 日				
乙種コード	免状交付年月日	交付番号	市入力番号	交付知事	コード																																																				
甲	年 月 日																																																								
乙1	年 月 日																																																								
乙2	4 12 年 04 月 07 日	05555		東京	13																																																				
乙3	年 月 日																																																								
乙4	年 月 日																																																								
乙5	年 月 日																																																								
乙6	年 月 日																																																								
丙	年 月 日																																																								

(A面) 試験センター発行 507

受験願書記入要領

- ◆ 受験願書A面の「記入上の注意」をよく読んでから記入例に従って記入してください。
- ◆ A面及びB面があり、複写式となっております。折り曲げたりしないでください。
- ◆ 黒色のボールペンを使用し、かき書で正しく書いてください。
書き損じた場合は、横2本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください。
(訂正印は不要です。)
- ◆ 年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0(ゼロ)を前に付けてください。
- ◆ 受験願書は本人が記入してください。

A面

①	都道府県名欄には「宮城県」と記入してください。
②	受験願書提出日(郵送日)を記入してください。
③	左づめで記入してください。また、カナ氏名の濁点・半濁点は、1マスを使用してください。
④	住民基本台帳に記載されている字を左づめで記入してください。 外国籍の方は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
⑤	該当する元号に○を付け、生年月日を記入してください。
⑥	本籍の都道府県名を記入してください。外国籍の方は「外国籍」と記入してください。 本籍コードは、受験願書B面裏の都道府県等コードを記入してください。
⑦	郵便番号を正しく記入してください。
⑧	住所は、現に居住している所を都道府県名から記入してください。また、濁点・半濁点が入る場合は、1マスに記入してください。 マンション、アパートの場合は、名称と部屋番号を必ず記入してください。 ※字数が多い場合は、余白を使って全て記入してください。当センターで省略できる箇所を判断します。
⑨	電話番号の局番等の間は、1マスを使用して「-」でつなげてください。 ※必ず平日の昼間に連絡のとれる電話番号を記入してください。
⑩	勤務先・学校名等を記入してください。 ※勤務先等への連絡に不都合が生じる場合は、勤務先の電話番号は記入しないでください。但し、必ず平日の昼間に連絡のとれる電話番号を記入してください。
⑪	受験する試験日を記入してください。 ※受付締切後の試験日・試験の種類・受験地の変更及びキャンセルはできません。
⑫	受験する試験の種類に○を付けてください。 乙種受験者は、受験する危険物の「類」を記入してください。
⑬	受験地は、4ページを参照して記入してください。
⑭	甲種受験者は、6ページの表「略称」を記入するとともに、証明書類をB面裏に貼ってください。 (乙種、丙種の受験者は記入する必要はありません。)
⑮	乙種第1類又は第5類の受験者で、火薬類の免状を有する方は、該当する事項に○を付けてください。 なお、試験科目免除を「受ける」に○を付けた場合は、火薬類免状のコピーをB面裏に貼ってください。 すでに乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方は、免状のコピーをB面裏に貼ってください。 丙種の受験者で7ページによる試験科目の免除を受ける方は、「該当する」に○を付けて証明書類2点をB面裏に貼ってください。
⑯	複数の類を同時に受験する方は、この受験願書以外の受験願書の受験種類を記入してください。
⑰	3か月以内に宮城県以外の都道府県で受験申請した場合は、記入してください。
⑱	該当する箇所の職業等に○を付けてください。
⑲	危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください。
⑳	免状の写真下に記載されている12桁の番号を記入してください。
㉑	危険物取扱者免状の交付を既に受けている方は、該当する全ての種類を記入してください。 (元号コード 昭和：3, 平成：4, 令和：5)(都道府県コードはB面裏を参照) なお、免状の表・裏のコピーをB面裏に貼ってください。

別表 1 化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等
(表に記載されていない学科又は課程は、宮城県支部にお問い合わせください。)

化学に関する学科又は課程等の名称			
ア 安全工学科 イ 医療薬学科 エ 衛生薬学科 オ 応用原子核工学科 応用生物科学科 応用生物工学科 応用生命科学科 応用生命工学科 応用微生物工学科 カ 環境生命科学科 環境物質工学科 環境マテリアル学科 キ 基礎理学科 機能高分子学科 機能高分子工学科 機能材料工学科 機能物質科学科 機能分子工学科 金属加工学科 金属学科 金属工学科 金属材料科学科 金属材料工学科 ケ 原子工学科 原子力科 原子力工学科 原子炉工学科	コ 工業材料科 厚生薬学科 高分子学科 高分子工学科 高分子材料工学科 サ 材料開発工学科 材料科学科 材料科学工学科 材料加工学科 材料科学科 材料機能工学科 材料工学科 材料物性学科 材料物性工学科 材料プロセス工学科 シ 色染工芸学科 資源工学科 資源素材工学科 システム量子工学科 食品科学科 食品学科 食品工学科 食品工業科学科 食料科学科 森林資源科学科 セ 製剤学科 製糸学科	セ 製造薬学科 生体機能応用工学科 生体物質工学科 生体分子工学科 生物応用工学科 生物機能工学科 生物工学科 生物資源科学科 生物資源利用学科 生物生産科学科 生物分子科学科 生物薬学科 精密素材工学科 精密物質学科 生命理学科 製薬学科 繊維工学科 繊維高分子工学科 ソ 総合薬学科 総合薬品科学科 素材工学科 ト 塗装科 ハ 醗酵工学科 醗酵生産学科 フ 物質科学科 物質科学工学科 物質工学科	フ 物質生物科学科 物質生物工学科 物質生命工学科 物質生命システム工学科 物質分子科学科 物質分子学科 物質理工学科 プロセス工学科 分子工学科 分子システム工学科 分子生物学科 分子生命科学科 分子素材工学科 マ マテリアル科学科 マテリアル工学科 ム 無機材料工学科 ヤ 冶金学科 冶金工学科 薬科学科 薬学科 薬剤学科 薬品科学科 ユ 有機材料工学科 ヨ 薬業工学科 リ 林産学科 林産工学科

別表 2 化学の授業科目の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目
(表に記載されていない科目は、宮城県支部にお問い合わせください。)

化学の授業科目の名称			
ア アモルファス物性工学 安全管理学 安全工学 安全防災工学 イ 移動現象論 移動速度論 医薬品安全性学 医薬分子設計学 医用高分子機能学 エ 衛生工学 衛生薬学 栄養学 エレクトロセラミックス エレクトロニクス材料工学 オ 応化・プロセス工学 カ 回折結晶学 界面工学 界面制御学 界面電子工学 界面物性 科学史 核燃料工学 核燃料サイクル特論 核融合概論 核融合工学概論 化工熱工学	カ 化工熱力学 化工物理学 化工流体工学 化石エネルギー 火薬学 ガラス工学 ガラス材料 ガラス状態論 ガラス物性 環境汚染物質分析学 環境物質工学 感光物性論 岩石学 官能基変換論 キ 機器分析 機能高分子学 機能性高分子材料学 機能性材料工学 機能性触媒工学 機能性有機材料 機能セラミック論 凝固論及び結晶生成金相学 金属学 金属加工学 金属材料学 金属材料工学	キ 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 ケ 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料 コ 高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物学 工業分析	コ 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論

コ	コロイド学	セ	精密材料物性学	ハ	バイオテクノロジー	フ	分離工学
サ	細胞培養学		精密素材工学		バイオプロセス工学		分離システム工学
	材料解析		精密分離工学		培養工学		分離装置工学
	材料開発工学		精密有機合成特論		爆発工学		粉粒体工学
	材料科学		製薬学		薄膜材料工学	ヘ	平衡論
	材料加工学		生理活性物質学		醗酵学		平衡・反応論
	材料強度学		精錬漂白論		醗酵工学	ホ	放射線計測学
	材料強度物性学		石油開発工学		醗酵工業論		放射線物性計測学
	材料結晶学		石油生産工学		醗酵生産学	マ	膜機能工学
	材料工学		接合学		バルブ学		マテリアル工学
	材料構造解析学		接着及び接着剤		バルブ工学	ミ	水処理工学
	材料精製工学		接着学		半導体工学		水処理実験
	材料精密工学		セメント工学		半導体材料		水の分子工学特論
	材料組織学		セラミック科学		半導体デバイス工学	ム	無機材質学
	材料組織形成論		セラミック基盤材料		反応工学		無機材料工学
	材料熱力学		セラミック工学		反応性物質材料		無機電子制御反応
	材料反応学		セラミック材料学		反応操作	メ	無機薬品製造学
	材料物性学		セラミックス概論		反応速度論	モ	免疫薬剤学
	材料物理工学		セラミックス材料工学	ヒ	非金属材料		木材化学
	材料プロセス設計		セラミックス電子材料		非晶質科学		木材成分学
	錯塩基及び酸化還元		セラミックプロセスング		微生物遺伝学		木材糖化論
	産業廃水処理		セルロース科学		微生物学		木質材料学
シ	色彩工学		繊維高分子工学		微生物機能学		木質資源化学工学
	色染実験		選鉱学		微生物工学		木質資源工学
	システム安全工学		先端材料物性特論		非鉄材料学	ヤ	冶金学
	焼結固体反応論	ソ	相平衡論		非平衡論		冶金工学
	焼成材料		相変態論		表面・界面工学		冶金反応工学
	醸造学		素材工学		表面工学		薬科学
	醸造工学	タ	耐火物概論		表面分析		薬学
	醸造工業概論		耐熱材料特論		肥料学		薬剤学
	状態方程式特論		多結晶材料工学	フ	ファインケミカル工業分析		薬品学
	触媒工学		単位操作		複合材料機能学		薬品工業概論
	触媒設計		単位反応学		腐食及び防食学		薬品製造学
	触媒反応工学		単結晶材料工学		物質移動プロセス特論		薬品製造工学
	食品衛生学		蛋白質工学		物質科学		薬品分析学
	食品栄養学	チ	超高温材料		物質工学		薬物学
	食品科学		調剤学		物質構造解析論		薬用植物学
	食品工学	テ	鉄鋼材料学		物質構造論		薬理学
	食品工業微生物学		鉄鋼表面処理		物質生科学		薬効学
	食品分析学		鉄冶金		物質生物工学概論	ユ	有機機器分析
	植物分子生物学		定性分析		物質プロセス工学		有機機能性材料
	人工結晶		定量分析		物質分析法		有機金属
	人造繊維工学		電解製錬工学		物性科学		有機構造解析
	新薬論		電解反応		物性子測論		有機材料工学
ス	水質学		電気材料学		物性論		有機材料工業論
セ	製剤学		電気電子材料科学		物体学		有機材料設計
	製剤工学		電気電子材料学		物理薬学		有機材料表面科学
	製紙科学		電極反応論		プラントエンジニアリング		有機材料物性
	製紙学		電子材料		プロセス工学		有機材料レオロジー
	製紙工学		電子物性		プロセスシステム工学		有機電解合成論
	製造薬学		伝熱工学		プロセス制御工学		有機反応機構
	生体機能工学	ト	同位体地球科学		プロセスダイナミクス		有機反応論
	生体機能電気科学		毒劇物学		プロセス熱力学		有機分析学
	生体機能利用学		特殊機能セラミックス		分光分析		有機薬品製造学
	生体工学		毒性学		分散系物性学		融体物有機材料電子物性
	生体高分子学		毒物学		分子遺伝学	ヨ	産業工学
	生体触媒学		土壌学		分子解析学		窯炉工学
	生体光反応学		塗装学		分子機能	リ	粒子線結晶学
	生体分子工学		塗装工業科学		分子機能設計学		量子分光学
	生体分子反応	ニ	ニューセラミック概論		分子構造論		量子力学
	製鉄製鋼耐火物	ネ	燃焼学		分子シミュレーション特論		林産学
	生物機能開発学		燃焼工学		分子情報計測学		林産工学
	生物機能工学		燃焼熱工学		分子生物学		林産製造学
	生物機能利用学		燃焼物理科学		分子生物学		林産物製造学
	生物工学		粘土工学		分子設計論		臨床薬学
	生物資源科学		燃料工学		分子素材工学		臨床薬理学
	生物資源利用学		燃料工業		分子熱力学	レ	レオロジー
	生物反応工学		燃料燃焼潤滑論		分子微生物学		
	生物物性学		燃料燃焼論		分子薬理学		
	生物分子科学		燃料分析学		粉体工学		

◆書式例 1 : 6 ページ(注 4)(2)の書式例

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号 甲種危険物取扱者試験受験資格証明書 (専修学校用) 〇〇 年 月 日 入学 〇〇科〇〇コース 〇〇 年 月 日 修了 氏名 〇〇 〇〇 年 月 日生	
学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 〇〇 年 月 日 号	
課程の名称	〇〇〇専門課程
修業年限	2 年
課程の修了に必要な 総授業時数	1700時間
上記のとおり証明する。 年 月 日 (専修学校の所在地) 〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇 印	

(注) 証明書の書式は、例の内容が記載されていれば自由です。

◆書式例 2 : 6 ページ(注 6)の書式例

書式例 2 単位修得証明書

〇〇第 号 単位修得証明書 〇〇 年 月 日 入学 〇〇部〇〇科 〇〇 年 月 日 修了 氏名 〇〇 〇〇 年 月 日生			
化学に関する 科目名	修得 単位	化学に関する 科目名	修得 単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2
上記のとおり証明する。 年 月 日 〇〇大学 学長 氏名 〇〇 〇〇 印			

(注) 証明書の書式は、例の内容が記載されていれば自由です。

(注) 学校長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則としてそのまま単位として認めます。

試験合格後の手続きについて

次のものを用意のうえ、郵送(原則)で免状交付申請をしてください。

1 免状交付申請書及び試験結果通知書

- (1) 試験合格者の試験結果通知書(圧着されたハガキ)を開くと、左側が試験結果通知、右側が免状交付申請書です。
- (2) 試験結果通知と免状交付申請書は切り離さずに提出してください。
- (3) 記載事項に誤りがないか確認のうえ、必要事項(申請年月日、申請者名(合格者本人)、電話番号)を記入してください。
- (4) 受験願書の氏名を省略して記載した方、印字された申請書の内容に誤りがあった方、電子申請で入力できなかった文字を訂正する方は、赤字で訂正してください。

2 既得危険物取扱者免状

- (1) すでに、危険物取扱者免状をお持ちの方は、必ず申請書と一緒に提出してください。
ただし、業務上免状を携帯する義務のある方は、免状のすべての面のコピーを提出してください。
(この場合、新たな免状が交付されしだい旧免状は当支部に提出しなければなりません。)
- (2) 氏名や本籍(都道府県名)に変更のある方、免状を紛失された方は、それぞれ書換えあるいは再交付の手続きが必要です。
- (3) 新たに交付される免状が届く前に次の試験を受験する方は、受験願書に添付する免状のコピーをあらかじめ用意してください。

3 新規免状返送用封筒

- (1) 新たに交付される免状を申請者に送るための封筒です。
 - (2) 「簡易書留」郵便で新免状を送りますので、封筒に460円(令和7年4月1日現在の金額)の切手を貼って、あて先に免状の受取りができる住所(自宅や勤務先)と申請者の氏名を記入してください。裏面には受験番号を記入してください。(20ページの図参照)
 - (3) 複数種類の申請をする方も、封筒は1枚で結構です。
- (注) 免状返送用封筒の宛名が申請者以外の場合、受取りを委任することが書かれた委任状が必要です。

4 免状交付手数料（非課税） ※令和7年4月1日から免状交付手数料の納付方法が変わります。

(1) 「宮城県手数料セルフレジ」による納付

- ① 宮城県手数料セルフレジで危険物取扱者新規免状申請手数料2,900円を納付してください。

セルフレジの設置場所

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 宮城県庁（1階バスポートセンター） 大河原地方振興事務所（宮城県大河原合同庁舎内） 仙台地方振興事務所（宮城県仙台合同庁舎内） 北部地方振興事務所（宮城県大崎合同庁舎内） 北部地方振興事務所栗原地域事務所（宮城県栗原合同庁舎内） 東部地方振興事務所（宮城県石巻合同庁舎内） | <ul style="list-style-type: none"> 東部地方振興事務所登米地域事務所（宮城県登米合同庁舎内） 気仙沼地方振興事務所（宮城県気仙沼合同庁舎内） 仙台保健福祉事務所（塩釜市北浜4-8-15） 仙台保健福祉事務所岩沼地域事務所（岩沼市中央3-1-18） 仙台保健福祉事務所黒川支所（富谷市ひより台2-42-2） 気仙沼保健福祉事務所（気仙沼市東新城3-3-3） |
|---|--|

- ② セルフレジから出力されたレシート（提出用）を手数料欄に貼り付けてください。

(2) 宮城県収入証紙による提出

- ① 宮城県収入証紙は、仙台銀行、県内に本店がある信用金庫、七十七銀行（一部の店舗）などで販売しております。

（注1） 宮城県収入証紙の販売は、令和7年9月30日で終了します。

令和7年10月1日以降は、原則「宮城県手数料セルフレジ」での納付となります。

（注2） 宮城県収入証紙がお手元にある場合は、令和8年3月31日までご利用いただけます。

（注3） 宮城県収入証紙とセルフレジの併用はできません。

- (3) 宮城県手数料セルフレジの利用や宮城県収入証紙の購入が困難な方
現金書留で2,900円を送付してください。

（申請書及び返信用封筒なども同封してください。）

（注1） 2,900円未満の宮城県収入証紙と、差額分の現金をお送りいただいても受付できません。

（注2） 領収書はセルフレジから出力されたものとなります。

- (4) 複数種類の申請をする方は、それぞれに免状交付手数料が必要です。

- (5) 免状交付手数料に過不足がある場合は、受付できません。

- (6) 宮城県手数料セルフレジ、支払方法についての問い合わせ先

「宮城県復興・危機管理部 消防課予防班」

電話：022-211-2374（9時～17時 土日祝日を除く）

5 免状交付予定日

免状交付申請書類の受付から約3週間後です。

（申請書類に不備がある場合は、不備の補正の終了後が受付日となります。）

6 その他

- (1) 郵送による申請の場合は、事故防止のため「特定記録」郵便をお勧めします。

（特定記録郵便物等の受領証は、免状交付まで大切に保管してください。）

- (2) 試験日から6ヶ月以上経過後に申請する場合は、申請前6ヶ月以内に撮影した写真（1枚）が必要になります。

- (3) 免状に旧姓併記をご希望の場合は、事前にお問合せください。

- (4) 宮城県公式ホームページから電子決済が可能となります。

詳しくは、宮城県公式ホームページ⇒消防課ページをご覧ください。

試験結果通知書及び免状交付申請書（裏面）

手数料欄

宮城県収入証紙 2,900円

※手数料欄にセルフレジから出力されたレシート（提出用）を貼ってください。

※電子決済した方は、受付番号を記入してください。

● 貼付されない場合は、欄外に貼ってください。

● 手数料に過不足があった場合は受付できません。

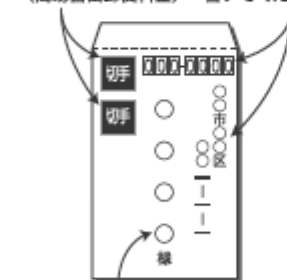
合格した方は、以下のものを用意してください。

新規免許状送付用封筒の作成例

（「運転免許証」を同封できる程度の大きさの定形封筒）

※460円分の切手を貼ってください。
（簡易書留郵便料金）

自宅（勤務先可）の郵便番号・住所を書いてください。



申請者の氏名を書いてください。



裏に受験番号を記入してください。

※簡易書留郵送料は、令和7年4月1日現在の金額です。